

2022 年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2022 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2022 年 12 月 1 日(木)～2 日(金)に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 43 名、委託関係者 54 名ほか、計 118 名の参集を得て、除草剤 18 薬剤(88 点)、生

育調節剤 1 薬剤(6 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

2022 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容		
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意			
1. AC-263 液 イマザモックスアンモ ニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	大豆	実・継 前 回 通 り	一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌処 理 (全面)	大豆出芽直前 ～本葉1葉 期、雑草発生 始期～2葉期	200～ 300mL <散布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・大豆に縮葉や褐変 が生じる場合がある	・一年生イネ科雑草に 対する効果・葉害の年 次変動の確認(東北以 南)		
			一年生雑 草		大豆出芽前期 ～本葉 3葉期、 雑草発生始期 ～2葉期			東北以南			・大豆に縮葉や褐変 が生じる場合がある	
			一年生広 葉雑草		茎葉兼 土壌処 理 (畦間)			大豆生育期、 雑草2葉期ま で			北海道	・作物に飛散しない ように散布する ・体系処理；イネ科 雑草対象の土壌処理 剤を使用する
2. BAH-2210 液 新規化合物a:211g/L [BASFジャパン]	大豆	—								(作用性)		
3. BAH-2211 液 新規化合物a:125g/L [BASFジャパン]	大豆	—								(作用性)		
4. BCH-181 フロアブル チエンカルバゾンメチ ル:2.9% ホラムスフロ ン:4.8% [バイエルクロップサイ エンス]	てんさい (ALS阻害 剤耐性) (直播)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	てんさい子葉 期以降、雑草 発生始期	50～100mL <散布水量 25～100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・低葉量、高水量で はシロザに対する効 果が劣る場合がある ・散布水量25～ 50L/10aの場合は専 用ノズルを使用する	・散布水量100Lにおけ る効果・葉害の確認 (子葉期以降・広葉雑 草1～2葉期)		
					茎葉兼 土壌処 理 (全面)						てんさい子葉 期以降、広葉 雑草1～2葉期	50～100mL <散布水量 25～50L>
											てんさい子葉 期以降、広葉 雑草3～4葉期	50～100mL <散布水量 25～100L>

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意		
4. BCH-181 フロアブル つづき	てんさい (ALS阻害 剤耐性) (移植)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	てんさい移植 後、雑草発生 始期	50～100mL <散布水量 25～100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	散布水量25～50L /10aの場合は専用ノ ズルを使用する	・散布水量25L/10aに おける効果・薬害の確 認(移植後広葉雑草3 ～4葉期) ・散布水量100L/10aに おける効果・薬害の確 認(移植後広葉雑草1 ～2葉期)	
				茎葉兼 土壌処 理 (全面)	てんさい移植 後、広葉雑草 1～2葉期	50～100mL <散布水量 25～50L>					
					てんさい移植 後、広葉雑草 3～4葉期	50～ 100mL<散 布水量50 ～100L>					
5. CG-123 α フロアブル アトラジン 27.8% S-メトクロール 26.4% [シンジェンタジャパ ン]	とうもろ こし (飼料用)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	播種後出芽 前、雑草発生 前	140～ 200mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・イネ科雑草の多発 圃場ではイネ科雑草 の2葉期までに使用 する。	・効果薬害の確認(と うもろこし出芽直前 ～出芽揃) ・水量70L, 150L/10a での効果・薬害の確認 (とうもろこし2～4葉 期)	
						140～ 260mL<水 量100～ 150L>		東北以南			
				茎葉処 理 (全面)	とうもろこし 2～4葉期	140～ 200mL<水 量100L>		北海道			
						140～ 260mL<水 量100L>		東北以南			
とうもろ こし (食用)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	播種後出芽 前、雑草発生 前	140～ 200mL<水 量100L>	140～ 260mL<水 量100～ 150L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・イネ科雑草の多発 圃場ではイネ科雑草 の2葉期までに使用 する。	・効果薬害の確認(と うもろこし出芽直前 ～出芽揃) ・水量70L, 150L/10a での効果・薬害の確認 (とうもろこし2～4葉 期)	
								東北以南			
								北海道			
								東北以南			
6. Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [BASFジャパン]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉 (全面)	大豆播種前10 ～14日	300～ 500mL <散布水量 100～ 150L>	全土壌	東北以南	・雑草の生育量に応 じて薬量を増減する ・播種後土壌処理剤 との体系処理をする	・低薬量での効果・薬 害の確認(播種後出芽 前) ・効果・薬害の確認(播 種後出芽前、北海道、 九州) ・アレチウリに対する効 果・薬害の確認(大豆播 種10～14日前) ・効果・薬害の確認(大 豆落葉終期)	
					大豆播種後出 芽前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)			東北以南 (九州を除 く)			・大豆の発芽開始後 は、薬剤が直接触れ ると薬害が発生するこ とがあるので注意する
				茎葉 (畦間)	大豆生育期 雑草生育期			全域			・作物に飛散しないよ うに散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する
				茎葉 (畦間・株 間)	生育期(本葉5 葉期以降)、雑 草生育期(草 丈20cm以下)						・専用ノズルを使用す る ・噴口はできるだけ低 くし、本葉にかからな いように散布する

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
6. Hoe-866 液 つづき	とうもろ こし (飼料用)	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理 (全面)	耕起または播 種前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL <散布水量 100～ 150L>	全土壌	東北以南		・効果・葉害の年次変 動の確認(耕起または 播種前) ・効果・葉害の確認(畦 間処理、北海道)
				茎葉処 理 (畦間)	とうもろこし 生育期、雑草 生育期					
	とうもろ こし (食用)	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理 (全面)	耕起または播 種前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL <散布水量 100～ 150L>	全土壌	東北以南		・効果・葉害の年次変 動の確認(耕起または 播種前) ・効果・葉害の確認(畦 間処理、北海道)
				茎葉処 理 (畦間)	とうもろこし 生育期、雑草 生育期					
	ホップ	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理 (畦間)	ホップ生育 期、雑草生育 期	300～ 500mL<散 布水量100 ～150L>	全土壌	東北以南	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈10cm以 下で使用する	・効果・葉害の確認(雑 草草丈30cm以下)
ひまわり (種子)	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理 (全面)	耕起または播 種前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL<散 布水量100 ～150L>	全土壌	東北以南		・効果・葉害の年次変 動の確認(畦間処理、 北海道)	
			茎葉処 理 (畦間)	ひまわり生育 期、雑草生育 期			全域			・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈20cm以 下で使用する
7. HOK-1911 水和 ジメテナミドP:15.4% レナシル:19.2% [北興化学工業]	てんさい (移植)	実・継	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	てんさい移植 後、雑草発生 前～始期	300～ 500g<散布 水量80～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・雑草発生始期処理 では、展着剤を加用 する	・シロザに対する効果 の年次変動の確認
	てんさい	実	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	中耕後、雑草 発生前～始期	300～ 500g<散布 水量80～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・雑草発生始期処理 では、展着剤を加用 する	
8. HSW-1801 フロアブ ル ピロキサスルホ ン:3.5% メトプロムロン:25.9% [ホクサン]	ばれい しょ	実・継	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	ばれいしょ植 付後萌芽前、 雑草発生前	300～ 500mL<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道		・効果・葉害の確認(東 北以南)
9. KUH-209 乳 ジメテナミドP:7.2% ピロキサスルホ ン:1.2% リニュロン:9.6% [クミアイ化学工業]	大豆	実	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	大豆播種後出 芽前、雑草発 生前	300～ 500mL<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・大豆の茎長が短く なる場合がある(北 海道)	

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
10. MBH-135 乳 フルチアセットメチル 2% [丸和バイオケミカル]	大豆	実・継	一年生広 葉雑草	茎葉処 理 (全面)	大豆2～4葉 期、雑草生育 期(草丈10cm 以下)	30～ 50mL<100L >	全土壌(砂 土を除く)	東北以南	・シロザ、ヒユ科、 ナス科の優占圃場で 使用する ・キク科、カヤツリ グサ科には効果劣る ・処理時に展開して いた葉に褐斑を生 じ、生育が遅れる場 合がある	・有効草種についての 確認 ・大豆1～3葉期処理で の効果、葉害の確認 (北海道) ・大豆5葉期～開花前 での薬量50mL/10aの 効果、葉害の確認(東 北以南)
					大豆5葉期～ 開花前、雑草 生育期(草丈 10cm以下)	30～ 40mL<100L >				
11. MBH-2003 水和 メタミトロン:35.0% レナシル:40.0% [丸和バイオケミカ ル]	てんさい (直播)	継								・効果・葉害の確認
	てんさい (移植)	継								・効果・葉害の確認
	てんさい	実	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	中耕後、雑草 発生始期	150～ 300g<散布 水量100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・イヌビエ多発圃場 では、高薬量で使用 する ・雑草発生始期処理 では、展着剤を加用 する	
12. NH-007 フロアブ ル グリホサートイソプ ロピルアミン 塩:30.0% ピラフルフェンエチ ル:0.16% [サンダーボルト007 普及会]	大豆	実・継	一年生雑 草	茎葉	耕起または播 種10日以前、 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	400～ 600mL <散布水量 100L>	全土壌	東北以南		・播種後出芽前処理で の年次変動の確認(東 北以南) ・多年生雑草に対する 効果の確認(東北以南) ・アレチウリに対する効 果・葉害の確認(耕起ま たは播種10日以前)
					大豆播種後出 芽前、 雑草生育期 (草丈30cm以 下)					
				茎葉 (畦間)	大豆生育期、 雑草生育期					
13. S-482 顆粒水和 フルミオキサジ ン:50%	さとうき び (春植え)	実	一年生広 葉雑草	土壌処 理 (全面)	さとうきび植 付後萌芽前、 雑草発生前	5～10g<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
	さとうき び (夏植え)	継								・効果・葉害の確認
	さとうき び (株出し)	実	一年生広 葉雑草	土壌処 理 (全面)	さとうきび萌 芽前、雑草発 生前	5～10g<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
14. S-604 乳 クレトジム:24.0% [夕張ツムラ・アリス ライフサイエンス]	おうぎ	実	一年生イ ネ科雑草	茎葉処 理 (全面)	おうぎ生育 期、イネ科雑 草3～5葉期	50～75mL< 散布水量 100L>	全土壌	全域		
	とうき	実	一年生イ ネ科雑草	茎葉処 理 (全面)	とうき生育 期、イネ科雑 草3～5葉期	50～75mL< 散布水量 100L>	全土壌	全域	・スズメノカタビラ 多発圃場では、高薬 量で使用する	
15. リニユロン 水和 リニユロン:50.0% [TKI社]	そば	継								・効果・葉害の確認

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
B. 2021 年度 除草剤										
1. AKD-7198 液 新規化合物:11% [アグロカネショウ]	大豆	—								(作用性)
2. Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [BASFジャパン]	大豆	2022 参照								
	さとうき び (春植え)	実・継	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草	茎葉処 理 (全面)	耕起または植 付前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域		・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び (夏植え)	実・継	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草	茎葉処 理 (全面)	耕起または植 付前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域		・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び (春植え)	実・継	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草	茎葉処 理 (畦間)	さとうきび生 育期、雑草生 育期	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び (夏植え)	実・継	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草	茎葉処 理 (畦間)	さとうきび生 育期、雑草生 育期	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び (株出し)	実・継	一年生雑 草、多年 生広葉雑 草	茎葉処 理 (畦間)	さとうきび生 育期、雑草生 育期	300～ 2000mL<散 布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm以 下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうき び	実・継	一年生雑 草	茎葉処 理 (圃場内 周縁部)	さとうきび生 育期、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 2000mL <散布水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しない ように散布する	・多年生雑草に対する 効果の確認
3. KUH-209 乳 ジメテナミドP:7.2% ピロキサスルホ ン:1.2% リニュロン:9.6% [クミアイ化学工業]	大豆	2022 参照								
4. NP-66H フロアブル ピロキサスルホ ン:3.4% リニュロン:24% [日本曹達]	大豆	実 前 回 通 り	一年生雑 草	土壌処 理 (全面)	大豆播種後出 芽前、雑草発 生前	250～ 350mL<散 布水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
C. 生育調節剤										
1. HSW-2101 乳 フルミオキサジン:10g/L (2022年6月24日公開) [ホクサン]	ばれいしょ	継								・効果・葉害の確認